

主 管：開 発 技 術 企 画 部
技 術 情 報 G

投影法

制 定：1970年 1月 9日
最終改：2005年 9月 30日
確 認：2011年 7月 31日

1. 制定の目的

製品の寸法、形状などの仕様を図面上に正確に再生するための投影方法を規定することにより、その図面を通じて製品図の仕様の明確な伝達を図ることを目的とする。

2. 適用範囲

この規格は、製品図（粗材図なども含む）に用いる投影法について規定する。

適用範囲は、JIS B 0001機械製図、及びJIS Z 8315-2 製図－投影法－第2部：正投影法に用いる投影法に一致する。

3. 投影法

投影法は、正投影（JIS Z 8315-2, 4.1）の 第三角法（JIS Z 8315-2, 5.2）による。

4. 投影図

4.1 投影図の名称・配置

各投影図の名称及び配置(注1)は、JIS Z 8315-2, 5.2 及び JIS B 0001- 8.1～8.3, 8.5 による。

(注1) パネル(板金)関係図面の投影図の名称、及び配置は、ISA-K-013Y パネル(板金)部品の図示方法による。

4.2 投影図の数

投影図（断面図を含む）の数は、理解を妨げない範囲で最小とする。

（JIS Z 8315-2 , 4.2 及び JIS B 0001-10.1.1b 参照）

4.3 投影図間のスペース

図面に配置された各投影図の間隔は、投影図・寸法・注記などが重なったり、誤読を起こさせないように十分なスペースをとらなければならない。

5. 引用規格

JIS B 0001:2010
JIS Z 8315-2:1999機械製図
製図－投影法－第2部：正投影法

6. 付則

(1) この規格は、2005年10月 3日より施行する。

(2) この規格の施行により次の規格を廃止する。

1996年 5月30日改正 **ISA-K-008B** 投影法

(3) 旧規格4. 4 製品の実形・実長（参考1～6）は、この規格の規定から削除する。

関連標準：ISA-K-013Y パネル（板金）部品の図示方法